



東京学芸大学外国人児童生徒教育推進ユニット「多様性が生きることばの教育」

2024年度 研修B 幼・小・中・高を結ぶことばの学び

第1回 来日間もない子どもの受入れと日本語指導の工夫

～はじめてとはじめてが出会って～ 2024.6.9

講義

～事前動画視聴を受けて～

事前視聴動画：

本ユニット2023年度事業

文科省補助事業「新たな教師の学び」に対応したオンライン

研修コンテンツ開発『外国人児童生徒等の日本語指導』

第2、第3、第4講座の抜粋 スライド右上🌟印

「来日直後の子どもの受入れにおける配慮および日本語指導の工夫」

谷 啓子（東京学芸大学）

「幼小の学びの連続性について～子どもの学びの特性に着目して～」

原 瑞穂（東京学芸大学）



来日直後の子どもの受入れにおける 配慮および日本語指導の工夫

谷 啓子（東京学芸大学）

子どもの受けれにあたって ～面談で確認すること～



(1) 個に応じた指導のために

1 日本語指導・学習支援の仕組み

最初の面談で尋ねること

- 1 来日時期と来日時の年齢
現在の年齢、滞日期間、日本での移動の履歴
- 2 背景の言語及び文化（言語、習慣、宗教）
- 3 保護者（親の在留資格、仕事）
- 4 将来の見通し（日本での滞在予定）
- 5 日本語の力と母語の力
- 6 これまでの教科等の学習経験（来日前、来日後）
- 7 学校以外の場所での学習機会（地域日本語教室など）
- 8 家庭の学習環境（家庭内言語、保護者の日本語の力、話せる言語）
- 9 健康面（既往症などがないか）

子どもの学習の動機付けに向けて
得意なこと、苦手なこと（教科）
好きなこと、嫌いなこと
楽しみにしていること

面談は、できれば家族全員と行いましょう。
家族構成や家族間の会話の様子が把握できます。
そして、必ず、事務的な手続きのために、
名前の表記と発音を確認してください。

(例) ブラジルの人の名前「Ronaldo」

日本では「ロナルド」と呼ぶことが多いよう
ですが、「ホナウド」や「ロナウド」など、
実際の発音や習慣などによって異なる呼び
名・表記も見られます。名前をどのように呼
び、表記するのかについては、本人と保護者
の考えを聞き取り、それを尊重しましょう。



(1) 個に応じた指導のために

1 日本語指導・学習支援の仕組み

最初に… 面談の留意点



- ▶ 子どもと保護者に対する学校説明
- ▶ 温かい雰囲気 / 保護者との信頼関係 / 子どもの安心感
- ▶ 自治体の支援（母語支援者、通訳者）や翻訳ツールの活用
- ▶ 自国との学校文化の異なりへの配慮

（例）・水泳の経験も少なく、プールカードが分からない
・体育の時間に体操着に着替える 等

Chào bạn!
Từ hôm nay chúng ta là bạn



ベトナム語版



文部科学省作成動画

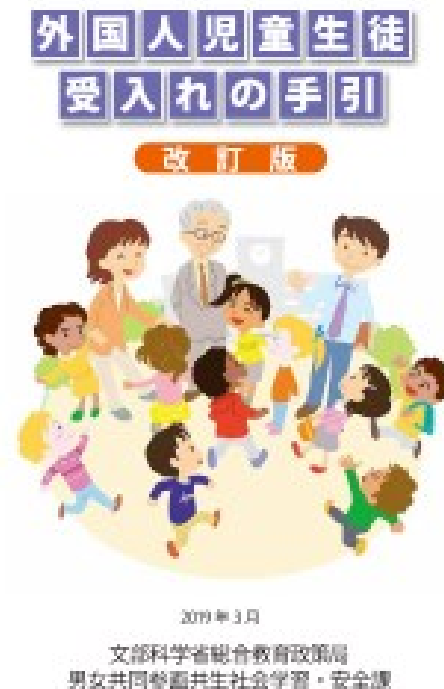
「はじめまして！今日からともだち」

外国から来日し、日本の小学校に通学することになった外国人児童を主人公に、ストーリー仕立てで学校生活の様子を紹介 ★15か国語

外国人児童生徒等教育に関する動画コンテンツについて：文部科学省 (mext.go.jp)

11か国の教育制度・学校文化ガイド集

【外国につながる児童の教育に携わるみなさまへのお役立ち情報】 11か国の教育制度・学校文化ガイド集を取りまとめました | 日本での取り組み - JICA



文部科学省

『外国人児童生徒受入れの手引き』2019年改訂
外国人児童生徒受入れの手引き：文部科学省
(mext.go.jp)



(3) バネッサさんの1日

1 日本語指導・学習支援の仕組み



バネッサ

バネッサの1日 (火曜日)

登校	
朝の会	
1時間目	3年2組
2時間目	3年2組
3時間目	国際教室
4時間目	3年2組 ★
給食	
5時間目	3年2組
6時間目	3年2組
終わりの会	
放課後	宿題支援

バネッサの時間割

	月	火	水	木	金	土
1	社会	図工	図書	算数	書写	
2	理科	図工	国語	体育	音楽	
3	国際 (日本語)	国際 (日本語)	外国語	理科	算数	
4	国語	算数 ★	体育	国際 (日本語)	理科	
5	算数	体育	音楽	学習 支援	社会 ★	
6		道徳		宿題 支援	総合	
放課後	学童	宿題 支援		学童	学童	

ここにご多文化クラブ



(4) バネッサさんの支援に関わるチーム

1 日本語指導・学習支援の仕組み



地域NPO



学童スタッフ



バネッサ



管理職
その他の先生方

Bom dia!



母語支援員



放課後ボランティア



国際教室(日本語指導)担当

3-2 担任



栄養教諭



養護教諭



1 日本語のコース設計

プログラムの組み合わせ・実施時期

内容 (→プログラム化)	日本語プログラム	～6か月	～1年	～1年6か月	～2年
A 生活場面の語彙・表現、 会話	A サバイバル 日本語	→	→		
B 日本語の発音・文字・文法 などの基礎的知識・技能	B 日本語基礎 (文字・表記・ 語彙・文法)	→	→	→	→
C 文章の読み・書きの技能 まとまった内容を聞く・ 話す技能	C 技能別日本語		→	→	→
D 教科等の学習に必要な 思考を支える日本語	D 日本語と教科 の統合学習	→	→	→	→
	教科の補習 (適宜)	→	→	→	→
E アイデンティティや 自己実現のための活動	E 母語・母文化、 交流、キャリア教育	→	→	→	→

文部科学省 (2019) 『外国人児童生徒の受入れの手引き 改訂版』をもとに一部加筆

緑...小学校低中学年 黄色...小学校高学年以上



例) 3か月のコース設計 ニールさん(小5)の例

1 日本語のコース設計

	1 か月目 (サバイバル中心)	2 か月目 (日本語基礎も)	3 か月目 (+教科関連学習)
サバイバル 日本語	あいさつ、数字、日付、 時間、体調、教室、友人名、 時間割、教室	あそびに誘う・頼む、色、 健康診断、給食当番、掃除当番	天気、忘れたものを借りる、 交通ルール、水泳カード、 遠足の持ち物
日本語基礎	ひらがな	ひらがな・カタカナ (日常でよく目にする語の読み)	ひらがな・カタカナ復習、 1年生の基本的な漢字の読み
	文型「～は～です」 「私は～が好きです」 (毎時間 10分)	文型「～があります/います」 「～は～をします」 「～にいきます」	文型「～は(形容詞)です」 「～てください」「～たいです」
日本語 × 教科		四則演算の言い方	算数の単位、周囲の公共施設
母語・母文化	在籍学級の特別活動等で 「クラスの友達と遊ぶ」 1	在籍学級の特別活動等で 「クラスの友達と遊ぶ」 2	在籍学級の総合的な学習で 「ネパール語紹介 1」

(2) 就学前・小・中・高等学校の学びをつなぐ①

2 文化間移動をする子どもの学び





(2) 就学前・小・中・高等学校の学びをつなぐ ①



2 文化間移動をする子どもの学び

- ・机に座っている時間が長くなる
- ・先生との関係の変化
- ・時間割で動く 等

小学校6年間は
成長の幅が大きな時期



担任

どうも指示が理解できていないみたい。
皆と一緒に動けない...
授業についていくのが大変みたい

うちの子は小さい頃から日本にいて、
話せるから日本語クラスには
行かなくていいよね

保護者





つながり

「幼小の学びの連続性について
～子どもの学びの特性に着目して～」

原 瑞穂（東京学芸大学）



子どもの日本語指導の役割

成長・発達過程にある子どもにとって…

ことばを獲得すること

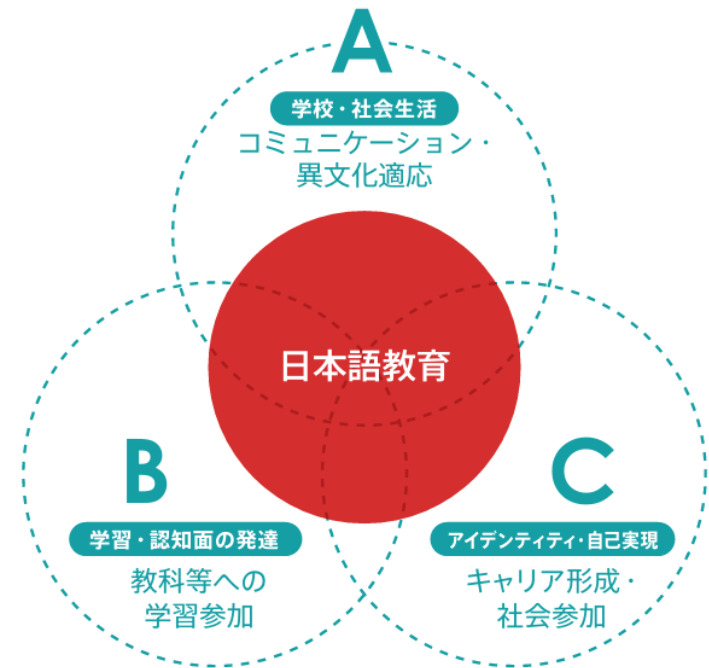
= **世界を広げ成長・発達すること**

≠ 単なる日本語の知識・技能の獲得

日本語教育

≡

成長・発達を支える全人的な教育



3つの側面から日本語指導の目標を設定



未来へつなぐ

(1) ライフコースの視点

2 文化間移動をする子どもの学び

幼児期

児童期

青年前期

青年後期

- ☑ 移動（来日）時の年齢は？ 何を体験しどう成長してきたのか？
- ☑ 現在の年齢は？ 心や身体の発達の特徴は？
- ☑ 家族や社会との関わりにおける役割は？
- ☑ 取り巻く社会的・歴史的状況は（母国・出身国で、日本で）？
- ☑ 将来、どこで、どのような社会的役割をもって自己を実現するのか？

キャリア教育の
重要性

ライフコースに着目するということ

身体の仕組み、発達過程と社会化、人生の意味や目標、その獲得手段を決める社会文化的背景、そして、歴史的背景やある時代の出来事や精神が、個人の人生体験に影響を及ぼす様相に注目すること。ライフコースの発展と形成は、社会的役割の連鎖であり、各段階での役割遂行が人生の満足感につながる。

未来へつなぐ



(1) ライフコースの視点

2 文化間移動をする子どもの学び



ライフコースに着目ということ

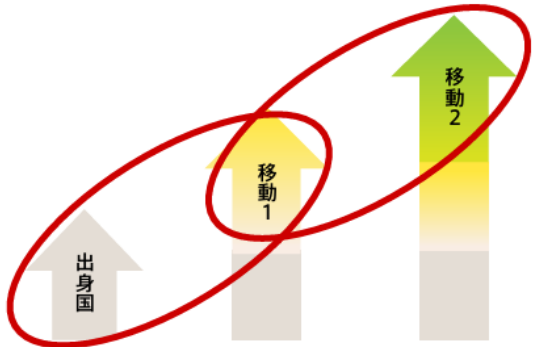
身体の仕組み、発達過程と社会化、人生の意味や目標、その獲得手段を決める社会文化的背景、そして、歴史的背景やある時代の出来事や精神が、個人の人生体験に影響を及ぼす様相に注目すること。ライフコースの発展と形成は、社会的役割の連鎖であり、各段階での役割遂行が人生の満足感につながる。



学びをつなぐ・社会をつなぐ

縦の学びの連続性

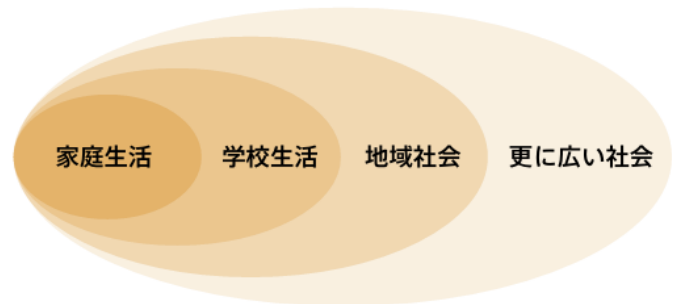
培ってきた力を、新しい学びに結ぶ



参考：齋藤ひろみ (2013) 「文化間移動をする子どもたちへの日本語教育」 『月刊国語教育研究』 No.490 p.17-18 をもとに作成

横の学びの連続性

子どもたちの「社会」は拡張し、複層化
社会的関係の広がりにより、学びにつながる



フォーマル・ノンフォーマル・インフォーマルな教育のネットワーク化が要

学校・地域の教室・家庭等が柔軟に関係を結び、成長のための環境・資源となる



主体的な生涯学習者となり、社会を築く人となる

日本語と母語をつなぐ

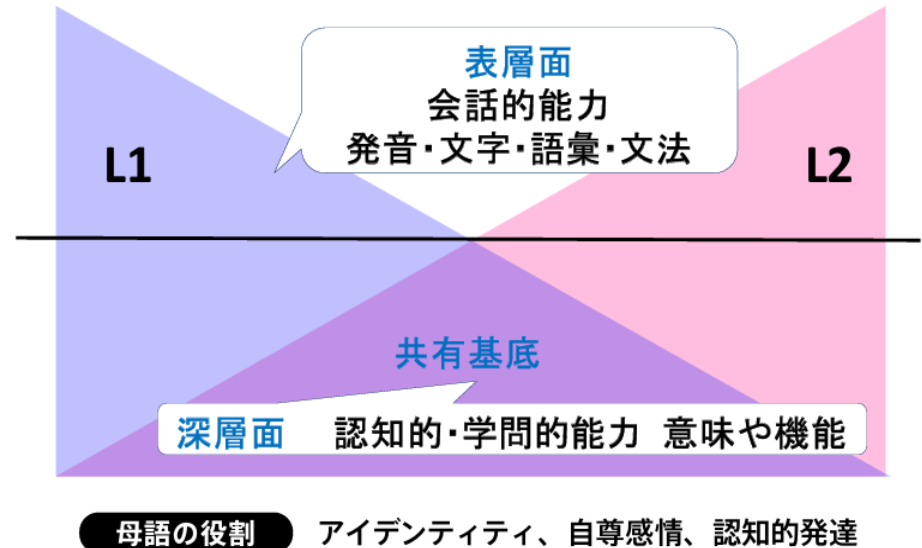
カミンズの相互依存仮説

母語と第二言語（日本語）は深層面を共有。

深層面は小学校高学年くらいまでに発達。

母語の発達は、来日時年齢や滞日期間による。

母語の力は第二言語（日本語）の学習にも影響。



生活的概念と科学的概念をつなぐ

幼児期

児童期

青年前期

生活的概念

科学的概念

- ・生活において自然発生的に得られる概念
- ・具体性に富むが、抽象化や体系化がなされず、随意的の操作性が乏しい。

- ・科学的知識の体系にもとづく教授により発達する概念(+ことば)
- ・ことばによる定義と制約が課され、具体性に欠けるが、自覚的随意的な使用が可能。

例) 生活の中で氷と水、水と蒸気の関係を経験している。

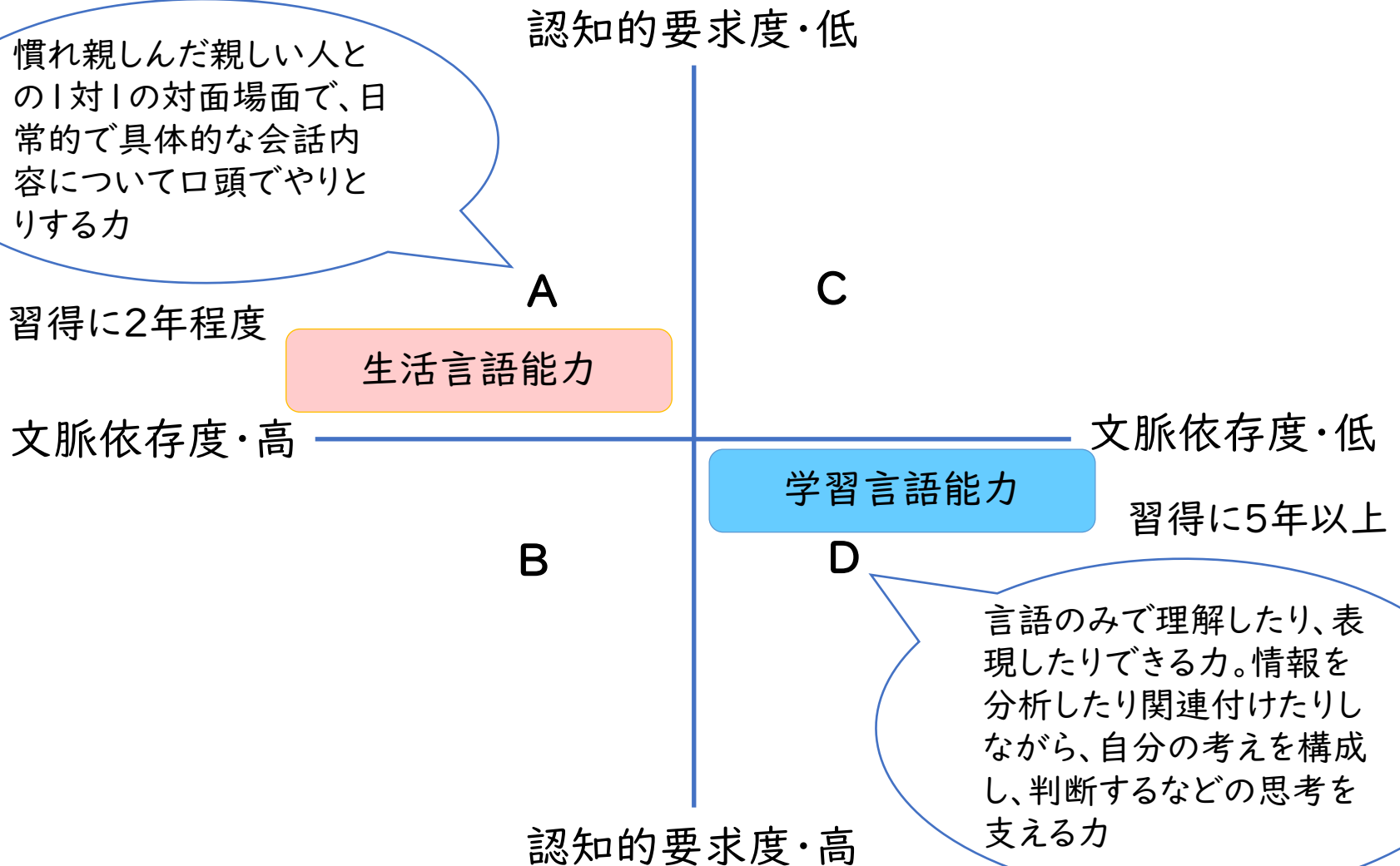


学校の理科の学習で、三態(固体・液体・気体)という概念(+ことば)を得る。

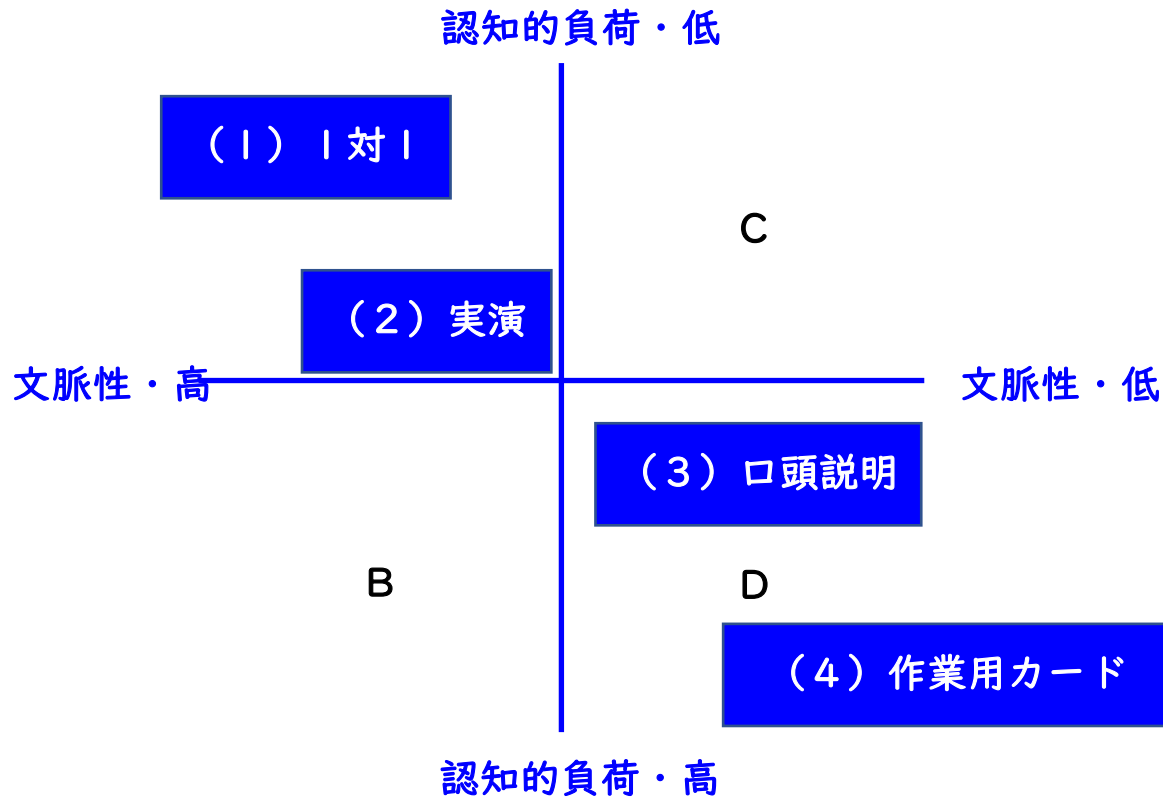
ヴィゴツキー, L.S./柴田義松(訳)(2001)『新訳版・思考と言語』新読書社

本山方子(2019)「自律的な学習への転機」外山紀子・安藤智子・本山方子編『生活のなかの発達—現場主義の発達心理学—』新曜社, pp85-101.

生活場面と学習場面での言語能力をつなぐ



例「高さの測り方」と「高さ」という概念の学習活動



(1) さまざまな物体を使って高さを測り、1対1で個人教授する

(2) さまざまな物体を使って、教室の前で教師が実演する

(3) 物体を使わず、教師が口頭説明をする

(4) 絵を使わず、作業用のカードの説明を読む

子どもたちの成長を支えるために

連続性

これまでどんな経験をしてきたのかな？

ここでの学びや経験はどんな将来につながるのかな？

中学／高校を卒業したらどうなっていくのかな？

どんな将来を描いているのかな？



子どもたちの現在の生活世界とことば、新たな学び、未来をつなぐ

- ・子どもの中にあるものを引き出す
直感、思い、感想、経験、既有知識、既習事項
- ・子どもの中になければきっかけをつくる
五感を使った活動から
触る、嗅ぐ、見る、聞く、読む、感じる
ものの見方・考え方を知る、広げる
人とかかわる

ことばで表す、整理する

参考文献・サイト

内田千春（2011）「就学前教育・保育の視点から教育格差を考える：言語文化的に多様な子どもたちと接続期の支援」『異文化間教育』54,pp19-38

ヴィゴツキー,L.S./柴田義丸松 訳(2001)『新訳版 思考と言語』新読書社

かながわ国際交流財団 外国につながる子どもたちの支援のための動画シリーズ「国際教室から学校全体へ」

[国際教室から学校全体へ 外国につながる子どもたちの支援のための動画シリーズ \(youtube.com\)](#)

(独) 国際協力機構 11か国の教育制度・学校文化ガイド集

[【外国につながる児童の教育に携わるみなさまへのお役立ち情報】11か国の教育制度・学校文化ガイド集を取りまとめました | 日本での取り組み-JICA](#)

齋藤ひろみ他(2011)『外国人児童生徒のための支援ガイドブック』凡人社

中島和子(2016)『バイリンガル教育の方法 完全改訂版』アルク

ベーカー,コリン (1996) 岡英夫訳・編『バイリンガル教育と第二言語習得』大修館書店

本山方子 (2019) 「自律的な学習への転機」外山紀子・安藤智子・本山方子編『生活のなかの発達—現場主義の発達心理学—』新曜社

文部科学省

『外国人児童生徒受入れの手引き』2019年改訂

[外国人児童生徒受入れの手引き：文部科学省 \(mext.go.jp\)](#)

外国人児童・保護者向け動画「はじめまして！今日からともだち」「おしえて！日本の小学校」について

[外国人児童生徒等教育に関する動画コンテンツについて：文部科学省 \(mext.go.jp\)](#)

Cummins,J,1984,Bilingualism and special education : Issues in assessment and pedagogy, Clevedon: Multilingual Matters